

環境保全活動を推進する マネジメント体制

URL <http://www.jreast.co.jp/eco/>

- 各職場からの環境活動の推進
- 環境教育の実施状況
- 環境活動に関する表彰制度
- ISO14001の取得状況



グループ全体の明確な目標設定と、社員一人ひとりの意識向上、そして全社を横串にしたマネジメント体制により、環境保全活動を推し進めます。

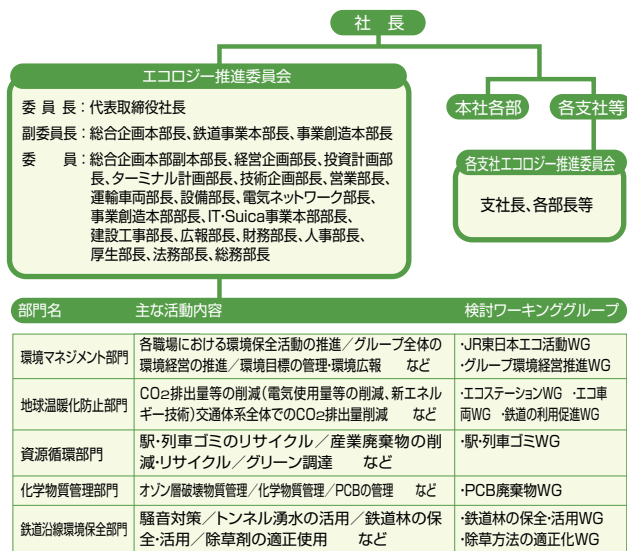
環境活動への風土づくり

JR東日本グループが一丸となって

環境活動を推進するにあたり、まず全社的な目標を明確に定め、それを実効性のある施策にすべく、JR東日本グループの社員それぞれが主体的に環境活動に取り組むことが重要と考えています。各職場における環境活動を推進する「JR東日本エコ活動」の全社展開、環境教育による指導者の育成、環境表彰による優れた取り組みの共有化などを通じて、環境活動の裾野の拡大に取り組んでいます。

「エコロジー推進委員会」では、事業活動にともなう環境負荷調査、および環境目標の設定、環境保全活動の実施、目標達成度の確認、経営層によるチェックなどを行っています。1992年に設置され、経営企画部に事務局を持つこの委員会は、代表取締役社長を委員長とし、各部門の責任者を委員とする社内横断組織です。また、全グループ会社の環境責任者が参加する「JR東日本グループ環境経営推進会議」を毎年開催しています。2007年度は、グループ全体での課題やグループ内の優れた取り組み事例を共有化しました。

■JR東日本の環境マネジメント推進体制(2008年6月30日現在)



●環境教育の実施

環境経営の推進には、全社員が環境問題に対して正しい知識を持つことが重要です。そのため、各機関・会社の推進者の育成を目的として、採用時や昇進時の研修など環境教育を実施。環境活動の裾野の拡大に取り組んでいます。特に推進者の育成については、グループ各社の環境活動を推進するため、2006年度から、各社の環境責任者が参加する「環境経営研修」を開始しました。

●ISO 14001の取得状況

比較的環境負荷の高い事業所については、環境マネジメントシステムの国際規格、ISO14001取得を進めてきました。車両のメンテナンスを行う総合車両センターは、全職場での取得が完了しています。

●内部環境監査

例えば総合車両センターでは、環境活動を自らチェックする取り組みとして、部外講習などで内部監査員を養成し、定期的な監査を行っています。内部環境監査では、派遣社員等に対する環境教育が実施されていない点などを指摘され、それらについて改善しました。

●環境リスクマネジメント

化学物質の取り扱いと管理を厳格化することで、環境事故を未然に防ぐ体制づくりに取り組んでいます。また火力発電所や総合車両センターなど化学物質や危険物を取り扱う現業部門では、異常時の対応マニュアルを整備しています。同時に勉強会や処理訓練を実施、関係者への周知徹底をはかり、現場での的確な対応ができるよう努めています。

●環境関連の事故

2007年度において、環境に関する事故や罰則を受けた例はありませんでした。